

朝日新聞 特別セミナー開催のお知らせ

発達障がいなど 学びに困っている子を 進学へ導く合理的配慮とは

【対象】神奈川県私立中学高等学校協会加盟校の教職員及び関係者のみなさま

※保護者の方もご参加いただけます。

学校では、発達障がいなどの傾向のある子を含めて、本人の特性から学びや学校生活に困る子が増えてきています。そんな中、改正障害者差別解消法が今年4月に施行され、国立・公立だけでなく、私立学校にも合理的配慮が義務化されました。学校現場の先生たちも、保護者も、本人もどう対応していいか悩んでいます。進学やその子の将来のために、中学、高校時代にどのような配慮で寄り添っていけばいいのでしょうか——。文部科学省の検討会議のメンバーも務め、中学・高校での合理的配慮や入試、大学などへの入学後の支援体制にも詳しい東京大学の近藤武夫教授と、当事者から語っていただきます。

参加費
1名あたり
1,500円
(税込み)

登壇者

※登壇者は変更になる場合があります。

東京大学先端科学技術研究センター教授

近藤武夫先生

博士(心理学)。専門はインクルーシブ教育・雇用。広島大学教育学研究科助教、米国ワシントン大学DO-IT Center客員研究員を経て現職に。多様な障がいのある人々を対象に、教育や雇用場面での支援に役立つテクノロジー活用や合理的配慮、修学・雇用制度の在り方に関する研究を行っている。文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会」委員も務めた。「DO-IT Japan」ディレクター。一般社団法人全国高等教育障害学生支援協議会・業務執行理事。著書に「知のバリアフリー」(共著、京都大学出版会)、「発達障害のある人の大学進学」(共著、金子書房)、「発達障害の子を育てる本 ケータイ・パソコン活用編」(監修、講談社)、「バリアフリー・コンフリクト」(共著、東京大学出版会)など。



コーディネーター

朝日新聞東京本社・編集委員

宮坂麻子

1992年朝日新聞入社。文部科学省記者クラブ担当記者をはじめ、約30年間にわたり、教育と学校、子どもの問題を追い続ける。不登校、いじめ、虐待、保健室ルボや発達障がい子どもたちも取材。執筆連載「凸凹の輝く教育」「変わる進学」「花まる先生公開授業」「教育DXの波」ほか多数。編著書に「学びに凸凹のある子が輝くデジタル時代の教育支援ガイド 子ども・保護者・教師からの100の提言」(Gakken)など。

発達障がいのある生徒・学生にも
ご登壇いただく予定です。

開催日時

10月26日 土 15:00~16:30 開場14:30 (予定)

開催場所

神奈川県私学会館 (神奈川県横浜市神奈川区高島台7-5)

※駐車スペースは限られております。会場へは公共交通機関をご利用ください。

定員

先着 200人

申し込み締め切り

10月25日(金)12:00

参加方法

お申し込みは下記URLから

<https://terakoya.asahi.com/article/15388232>スマートフォンは
こちら▶

※神奈川県私立中学高等学校協会加盟校の教職員以外の方のお申し込みは、お断りする場合もございます。※お申し込みにあたり、寺子屋朝日ForTeachersへの会員登録(無料)が必要となります。※お申し込み後は、本イベント中止以外の理由に伴うキャンセル・変更・払い戻しはできません。※お申し込み前に【@asahi.com】ドメインからのメールが受信できる状態にしてください。

【お問い合わせ先】10月26日開催「合理的配慮セミナー」問い合わせ窓口(朝日カルチャーセンター内)

MAIL:seminar241026@asahiculture.com お問い合わせ時間:平日(月曜日~金曜日)10:00~17:00